

校長室の窓から **No.56**

☆☆☆☆☆五城目町立五城目小学校 校長室だより 平成29年10月6日(金)

- 創立(143周年)
明治7年5月7日
- 児童数 278名
(H29.10.1日現在)
- 教職員数 45名
文責:校長 戸部裕隆



※スマートフォン
からもご覧に
なることが
できます。

「のびゆく子」で明日へつながる対話を

今日で1学期が終了となりました。校内マラソン大会が雨天のため延期となったことが悔やまれましたが、逆に6年生や5年生をはじめとした五小っ子が予定変更にも柔軟に対応する力を示す機会となったことを大変嬉しく思っているところです。

子どもの評価の仕方は、父親であったり母親であったり、また祖父母であったり、家族の中でも立場によってそれぞれ異なっていると思いますが、家庭・地域での生活や学校での集団生活を通して、どの子どもも、大人になるための階段を自分なりのペースで上っていて、半年前より格段に成長していることは間違いのない事実です。



なべっこ 10/4

手際よく「だまこ鍋」をつくる5・6年生

子どもたちは、各教室で担任の先生から通知表「のびゆく子」を受け取りました。学習でがんばった人もいれば、係活動や行事などで地道に自分の役割を果たしてがんばった人もいます。中には、いろいろな理由から、自分で決めた目標(めあて)に届かなかったと振り返っている人もいたかも知れません。そういうお子さんには、明日への意欲がみなぎるように、家庭でも学校でも大いに励ましたいものです。

さて、本校の通知表は「めざす子ども像」との関連でお知らせしています。学校での学習の様子(かがやく子)や生活の様子(やさしい子)、出欠状況やスポーツテストの記録(明るく元気な子)がそれにあたります。学校生活における評価ですから、家庭で見せる態度や表情、言葉遣い、行動の様子とは必ずしも一致するものではありません。通知表をご覧になって保護者の皆様が感じられる思いは、およそ次のどれかに当てはまるのではないのでしょうか。

- ① 家庭での態度はまだまだだと思っているが、学校での評価は思いのほかよい。
- ② 家庭でも学校でも同じように過ごしているようで、学校での評価が似ている。
- ③ 家庭では申し分のない態度で過ごしているのに、学校での評価は思うほどでもない。



高学年手作りの鍋に舌鼓を打つ1・2年生

特に③のように感じられる場合には、些細なことでもお子さんの家庭での様子についてお知らせください。学校と家庭で情報を共有していくことによって、お子さんのよりよい成長が促されていくからです。

また、保護者の皆様には、通知表の「よくできた」の「○」の数で一喜一憂することなく、ぜひ将来の夢や希望、これからの学校生活への学習意欲や生活態度につながっていくようなことを話題にしながら、家族団らんの場をしっかりと設け、親子で、家族でしっかりと対話していただきたいと願っています。

通知表の項目には「忘れ物・整理整頓」がありますが、「もう少し」に「○」が付いていたお子さんが相当数いました。ぜひ、「忘れ物を少なくする方法」「効果的なお部屋

の後片付け」をテーマにしたり、「1日のテレビ視聴時間、ゲーム時間」を話題にしたりして、親子で一緒に2学期の生活改善につながる取組を話題にしてほしいとも思います。

子どもの生活の3分の1は学校、3分の2は家庭・地域です。朝・昼・晩の食生活や睡眠時間の確保、年齢に相応しい運動、そして家庭の中での笑顔が飛び交う適度な対話など、基本的な生活習慣が低学年の早い段階できちんと身に付けば、学校生活においても安定した状態を保つことができます。

保護者の皆様におかれましてはどうか、お子さんの2学期に向けた新たな目標(めあて)設定への意欲につながる秋休みとなりますよう、楽しくご家族でお過ごしください。